

生活発表会だより No.3

暦の上では立春となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。園庭での劇あそびでは、のびのびと歌を歌ったり、広い場所でのびのびと表現したりして友達と一緒に表現することを楽しんでいます。



○2月17日(水)

園庭でクラスごとに順次行ない、各家庭1名のみでの観覧となっています。尚、劇遊び終了後保育が必要な方は、12日までに担任へお知らせください。



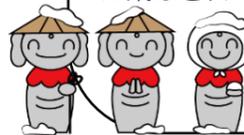
- 9:15～ はと組
- 9:45～ つばめ組
- 10:15～ かなりや組
- 10:45～ かもめ組
- 11:15～ ひばり組



- 持ち物：ICカード、健康観察カード
- 服装は黄色トレーナー、体操ズボン、マスク
- 保護者の方は体調管理表に記入の上、マスク着用、名札を持参してください。
- ※詳細は“生活発表会の開催について”のおたよりをご確認ください。

はとぐみ 『かさじぞう』

「おじいさん、あっちでもこっちでも笠売れなかったなあ…」「悲しいと思うわ」「泣きたいと思うんとちがう?」「じゃあ、最後にいう笠はいらんかね…」のところは泣きそうに言わなあかんとするで」と年長さん。おじいさんの気持ちも考えて表情をつくっていました。「お地蔵様がだんだん近づいてくるところは声の大きさはどうなるんやろう?」「最初は小さくじょいやさって言って、だんだん大きしたらええんとちがう?」とも考えていました。先日は雪を見て、「雪って風に飛ばされていたで」「じっとしてなかったからもっと動いてもいいかも…」と雪の表現もかわってきました。セリフや動きにも少しずつ幅が出てきたはとぐみ、この思いが届きますように…。



つばめぐみ 『アラジンと魔法のランプ』



「洞窟に閉じこめられたアラジンって、どんな気持ちかな?」と問いかけると、「こわい」「絶対にいやや」「お母さんに会えへんから泣く」などいろいろな思いが子ども達の中にはあるのですが、「だけど、宝石のなる木があるから、宝石をいっぱい取りまくる」「お母さんに宝石をプレゼントする」と気持ちがあたたかくなる言葉も出てきます。

キラキラ紙とミニゴムを使って、指輪作りが始まりました。劇で使いたい道具がどんどん増えていき、劇の中で道具を準備する場面も楽しんでいます。



かなりやぐみ 『わんぱくだんのたからじま』

わんぱくだんが目指すのは宝島!上陸するとなんとそこは暗〜いジャングル!夜のように真っ暗です。どこからか聞こえてくる猛獣の声。その猛獣の声の表現を子どもたちと考えました。「猛獣って怖い動物のことやで」「じゃあニコニコしてたらあかん」「ポーズも考えよ!」「小さい声やとかわい動物になる」ということで決まったのが『猛獣の声のお約束!』です。【①こわ〜いかお!②こわ〜いつめ!③大きな声!】の3つです。お友達の台詞やピアノの曲にタイミングを合わせながら猛獣になりきって楽しんでいます。猛獣から逃げ回るわんぱくだんの子もたちの表情も真剣です!まだまだかなりやぐみわんぱくだんの勢いは止まりません!

かもめぐみ 『ケロリンピック』

かもめぐみケロリンピックが近づいてきました。お話の終盤・・・雨でプールが深くなり、池のプールが大荒れに。そこにカエルたちが一気に飛び込み、25ケロメートル自由形でゴールを目指します。本来であれば大荒れの池でおなかを風船のように膨らませて一斉にゴールする場面。子どもたちとこの場面について話し合ったとき、自分たちが同じ状況だったらどうしようと考えました。すると、子どもたちからみんなで助け合ってみんなでゴールする!と力強い答えが返ってきました。最後の場面は、大好きな友達とみんな一緒にゴールしたい!という子どもたちと考えた終わり方になっています。ちなみにその場面、何度やっても列が途切れてしまい、なかなかみんなでゴールできませんでした。当日はちゃんとみんなでゴールできるかな?



ひばりぐみ 『おとのさまとにんじゃ』

「忍者やりたい!」「鬼になりたい!」子ども達は、毎日役になって楽しんでいます。鬼が出てくる場面では、「鬼はこんな顔している」「もっと怖い顔したほうがいい?」「鬼は大きいから足音が大きくないと!」と子ども同士でアイデアを出しあいながら、鬼になりきっています。一方、忍者役の子も達は、自作の刀を手に「忍者の練習しないと!」「刀を上から振り下ろしたらカッコいい?」と忍者修行に励んでいます。忍者と鬼が戦うシーンでは、どちらの役も「僕たち・私たちが一番強いんだ!」という気持ちで取り組んでおり、力いっぱい表現をしています。また、砂場では、お殿様が見たいと言った富士山をつくらうとスコップを手に大きな山をつくっていました。

